

英ウィルシャー・インデックスに出資 指数事業のグローバル化を推進

日本経済新聞社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：長谷部剛）は、英国の指数（インデックス）開発・運営会社、ウィルシャー・インデックス（Wilshire Indexes:本社ロンドン）に資本参加しました。同社が実施した増資の一部を引き受け8%出資する株主となりました。同社には日経グループの英フィナンシャル・タイムズ（FT）が出資しており、現在「FT ウィルシャー 5000」といった指数を展開しています。今回の日経の出資で、日経・FTグループはウィルシャー・インデックスに約2割を出資する株主となり、インデックス事業のグローバル展開を推進するほか、日経の国際的なブランド力向上につなげていきます。

ウィルシャー・インデックスは2023年3月、投資情報サービスの米ウィルシャーがインデックス事業を分離・独立する形で設立されました。同社CEOを務めるマーク・メークピース氏は1995年にFTSE インターナショナル（現・FTSE ラッセル）を設立し、社員9人で始めたスタートアップを世界最大級の指数開発会社に育て上げた実績を持っています。

日経とウィルシャーは22年、ESG投資の有力手段となる「日経平均気候変動1.5°C目標指数」を共同開発し、シンガポール取引所（SGX）と大阪取引所で先物取引も始まっています。今回の出資を通じて、FTも含めた日経グループとの連携を強化するとともに、日経気候変動指数に続く指数の開発などに取り組んでいきます。ウィルシャーと共同のプロモーションを通じて日経ブランドのグローバル市場での知名度向上にもつなげていく考えです。

【日本経済新聞社 代表取締役社長 長谷部剛のコメント】
指数開発で優れた実績を持つメークピース氏率いるウィルシャーに出資できたことを大変うれしく思います。「日経平均株価」などこれまで国内中心に展開してきた日経のインデックスをグローバルで存在感のある事業に育てていきたいと考えています

【ウィルシャー・インデックスCEO マーク・メークピースのコメント】
日本経済新聞社と戦略的パートナーシップを結ぶことに興奮しています。日経グループのブランド力の強さとウィルシャーが持つインデックス業界の深い専門知識とリーダーシップの組み合わせは、我々のグローバルなベンチマーク・プラットフォームの競争力の向上につながっていくでしょう

日本経済新聞社について

日本経済新聞社は1876年以来、140年以上にわたってビジネスパーソンに価値ある情報を伝えてきました。約1500人の記者が日々、ニュースを取材・執筆しています。主力媒体である「日本経済新聞」の販売部数は156万部、2010年3月に創刊した「日本経済新聞 電子版」をはじめとするデジタル有料購読数は101万で、有料・無料登録を合わせた会員数は620万です。

本件に対する問い合わせ

日本経済新聞社 広報室 [TEL:\(03\)3270-0251](tel:0332700251) (代表)